

滑 流

ワニリウ

The Highlight

- P2~3 2019五農できごと
- P4~7 特集…学科紹介
- P8~9 写真 (Aguri new star)
- P10 五農生睡眠アンケート
寄宿舎について
- P11 運動部突撃レポ
進路インタビュー
- P12 PTA活動2019

五所川原農林高等学校PTAだより 第42号



FSC認証 五農木材五輪へ出発

東京五輪選手村に使用～心を込めて加工

9月20日、2020年東京五輪・パラリンピックの選手村「ビレッジプラザ」の建築資材として、本校が提供する杉材の加工と出発式が行われました。木材提供は、本校が高校としては世界で初めて森林管理の国際認証「FSC」を取得したことが決めとなりました。生徒達は「世界の人々に五農木材をみてほしい」と認証材の加工作業に励んでいました。出発式ではテープカットの代わりにウッドカットを行い、出発を見送りました。



今年もタマネギでもグローバルG.A.P. 5品目認証へ

農産物の国際認証規格「グローバルG.A.P.」の認証取得に取り組んでいる本校は今まで認証した4品目に加え、新たにタマネギでも取得を目指して、今年の認証審査を受けました。2015年に国内高校として初のグローバルG.A.P. 認証をリンゴで取得以後16年にコメ、17年にメロン、18年にジャガイモでも認証を取得しています。生徒は今回、認証を取得すれば、来年の東京五輪への食材提供に向けた大きなアピールになると、しっかりと説明していました。



市長賞に輝く!! 五農立役武多

今年も8月4日～8日に開催された五所川原立役武多祭りに参加しました。毎日生徒達の元気あふれる踊りと囃子で五所川原の街を盛り上げました。今年の立役武多は「風雲児信長 月下の疾駆」です。織田信長は、若い頃「うつけ者」として知られていました。しかし、「うつけ」は父に了解を得て見聞を広げる為に演じたとも伝えられています。そのような若かりし信長が愛馬を従え、月下の元を勢いよく疾駆する姿を描きました。令和元年度を迎え五農も勢いよく新たな時代を切り開き、ますます発展してくれることを願い、高校生と同じ年代時の信長を題材としました。出来映えも良く祭りの最高賞である**五所川原市長賞**をいただきました。



五農生造園作り挑戦 造園業のマイスター 熟練の技を見て学んで

森林科学科の3年生が厚生労働省が認定する熟練技術者の「ものづくりマイスター」を講師に迎え造園の技術指導を受けました。生徒達は地元の職人の技に擦れ合いながら簡易な造園造りに挑戦し、造園業に親しみました。立役武多小屋となりにかわいくとても素敵な庭が出来ましたので、一度足を運んで見て下さい。



五農認知症カフェで語らいを楽しむ

本校の古民家「耕心庵」で認知症カフェを開きました。生徒と介護施設などを利用しているお年寄りがおしゃべりをしながら枝豆の枝からさやを外したり、ハンドマッサージを受けたりして交流を深めました。用意した枝豆は、国際宇宙ステーションに保管した「宇宙毛豆」の種子を採取するために本校が栽培したものです。参加された方々は思い思いに楽しんでいました。



青森県学校農業クラブ連盟大会

～3種目で最優秀賞～

県内の農業クラブに加盟する6校が発表部門と技術競技部門で競い合いました。生徒の皆さんは、日頃の研究成果を発表するため、放課後も遅い時間までスライド作りや発表練習を行った結果、プロジェクト分野Ⅲ類、意見発表分野Ⅱ類、意見発表分野Ⅲ類で最優秀賞を獲得し、東北連盟大会への出場を決めました。



鉄筋業を進路の一つに

県職業能力開発協会が、本校の環境土木科2年生に鉄筋業に理解を深めてもらおうと鉄筋組み立て指導の出前講座を行いました。講師は鉄筋工事について「コンクリート構造物の大工」などと説明しながら各建造物で行われた工事を紹介していました。組み立て指導では生徒達が3級鉄筋技能検定の題材に挑戦し、指導を受けながら柱や梁を組み立てていきました。生徒達は難しいと思ったがとても楽しくでき、進路の一つとして考えたいと話し、講師の方も鉄筋業界は高齢化や担い手不足が問題となっているので、一人でもこの業界に入ってくれば嬉しいと期待していました。



野球部 打ち合いを制して夏100勝目!!

五農は泥くさいながら、青森県甲子園予選5年ぶりに初戦突破を果たし、ようやく夏の100勝目の勝利をつかみました。本番が近づくにつれてチーム内に緊張感が広がったと話していましたが多くの練習でみんなを信じて強気でチーム一丸となって臨んだ試合でした。節目の勝利となった試合には即席のチアリーダーをはじめ、全校一体となった応援も大きな後押しになりました。



高校生ビジネスプランコンテスト「赤～いリンゴ」を使った加工品の規格案を発表

食品科学科の生徒が「赤～いリンゴ」を使った加工品の企画案を五所川原市や五所川原商工会議所青年部の関係者に発表しました。生徒達が考案したのは、リンゴの機能性成分に着目したジュースと果肉感のあるジュレを使った焼き肉のたれです。

商品のPRポイントや販路などを今後さらに詰めて、発表会でのアドバイスを踏まえながら最終目標を商品化としてこれから試作品作りを進めていくこととなります。



2019 五農フェスティバル



food 食品科学科 chemistry



校内でも、校外でも思い出の真ん中に一緒に Make Some SyokuhinKagaku



食品科学科3C 野呂陽南

食品科学科は、多くの方がご存知の通りジャムやジュース、味噌などを製造しています。私達はただ加工品を製造しているだけではありません。原料となる林檎やカシス、ブルーベリーなどの栽培、収穫なども行っています。他にも機械ではなく手作業で一つ一つジャムやジュースの蓋を閉めたり、商品ラベルのシールを貼ったりなどの地道な作業もしています。ただその地道な作業がないとお客様の元へは商品を届けることができないので、私達はその工程も大切に実習しています。また、冬に津軽鉄道に乗って車内販売も行います。車内では、私達の製造した味噌を使用した「みそド」を販売しました。国内以外にも海外のお客様とコミュニケーションをとって五農のPRに繋げることができました。このように、私達は原材料の生産・加工・販売までの工程を全て行い、6次産業化の取り組みを頑張っています。

学科概要

食品製造に必要な知識と技術を習得させ、加工食品に関する原材料、分析方法、品質管理、流通について理解させるとともに、食品関連産業の伸展に対応できる能力と態度を育て、主体的に活動する人材育成を行うことを目標としています。

加工品づくりは手作業もあります！

交流活動や農場で加工品原材料の生産もします！

レア商品五農みそ。実習は衛生面が最重要！

ラベルを貼り終えて商品販売！販売も自分たちで行います。

Syokuhin Kagaku ID:123456789

生産・加工・販売までを実践します。

environmental 環境土木科 Engineering

学科概要

土木関連産業や地域社会に貢献できる人材育成を目指し、農業土木設計、農業土木施工・水循環、測量等を学習することによって、自然との共生をはかり、環境に配慮したもののづくりに必要な能力と態度を育てます。



環境土木科3E 葛西貴史

縁の下の力持ちとは、私たちのことである。土木の知識や技術を活かした仕事は「国土の医師」とも呼ばれています。土木の役割には土壌改良、豪雨や土砂による災害の防止があります。また道路・橋・用水路・ダムなどを整備し、人々が安心して生活できるようにすることも役割です。授業は、座学・実習・現場見学などを行っています。座学では、測量や農業土木設計の計算、実習ではトータルステーションなど高価な器械も使っています。他にも、資格取得にも積極的に取り組んでいます。特に土木の仕事に携わるうえで重要な測量士補、2級土木施工管理技術検定の取得に力を入れています。進路も大学進学から、公務員、就職と幅広いのも特徴です。各クラスには、男子だけでなく女子の生徒もいます。未来の日本を支えてくれる人、待っています。

土木の授業は難しい？実習は大変？

しかし、資格取得と就職に強い！

だから、ワクワクが止まらない！

環境土木科の授業は、共通教科(5教科など)と専門教科(農業土木)に分かれています。学年が進むにつれて、専門教科が増えていきます。唯一の栽培系科目である「農業と環境」の授業(1年生)では、イネやエダマメ、サツマイモなどを栽培しています。2・3年になると、全て土木系の科目になりますが、授業で基礎・基本をしっかりと学び、実習で実践する授業体系になっています。「測量」と「土木の三力」と言われる「農業土木設計(構造力学)」・「水循環(水利学・土質力学)」を学び、将来は、技術者として西北五地域を中心に活躍しています。是非、みなさんも、五農土木へ！

コンクリートの打設実習 コンクリート強度試験 ブロック建築実習 暗渠排水施工実習

TS測量 建設機械運転実習 型枠鉄筋組立実習 セメント密度試験 骨材ふるい分け試験

F 森林科学科

Forest science

森林科学科は技術系公務員（林業職）の合格数
が全国の林業系学科の中
でもトップクラスです。
山の中で働く仕事はかし
こい・かっこいい・きも
ちいいの3Kです。



ツリークライミング



100年前に作られたヒバ製ダムの見学



林業現場見学

学科概要

林業関連産業や地域社会に貢献できる人材育成を目指し、森林環境に関する科学的技術を体験することによって、森林資源を有効に活用できる能力と態度を育てます。



チェーンソー技術講習会
女子でもできるぞ!



高性能林業機械実習



巨木見学



門松製作



木材市場の見学

森林科学科ってどんな学科?

森林科学科は森林や林業、木材、自然環境、森林土木などについて専門に学ぶ学科です。青森県内には1つしかありません。「ピオーツ」という授業では野生の生き物についても学習できます。森林・林業業界ではたくさんの学科卒業生が活躍しています。



森林科学科3F
山田 陸 翔

森林科学科は、青森県内でただ一つの学科であり、東北地区でも2校しかありません。そんな歴史と伝統のある私達森林科学科は、本校の中で一番元気がよくて団結力のある科です。時には、元気が余りすぎて、先生方からご指導を受ける場面もありますが、素直で思いやりのある生徒がたくさんいます。授業には、森林科学や森林経営、林産物利用、測量などの科目があり、将来は林業技術者として活躍するために、日々勉強しています。特にチェーンソーを使った伐採実習は迫力があり、とても楽しいです。また、山菜やキノコを採取することもでき、林業の魅力がたっぷりの授業がたくさんあります。外部講師による高度な知識と技術を学ぶ機会も多く、学んだ事をそのまま就職にいかすことができるのも、森林科学科の良さです。

私達はこれからも勉強に励み資格取得に挑戦し、部活動で心身を鍛え、青森の林業を森（盛り）あげたいと思います。

国際森林認証FSC®を本校の実習林で取得しました。高校で取得するのは世界初と言われています。平成30年度は木材加工・流通の認証であるCoC認証も取得し、2020年東京五輪・パラリンピックへの建築材を供給しました。



G 生物生産科

growing crops

学科概要

農業関連産業や地域社会に貢献できる人材育成を目指し、
稲・野菜・果樹などの一次産業を柱として
多角的に学ぶことによって、地域農業の発展
に寄与できる能力と態度を育てます。



生物生産科3G
橋本 聖 矢

生物生産科では主に農作物について学習し、栽培技術を学べる実習が多くあります。果樹園や水田、野菜畑で皆と協力し話し合いながら栽培方法を勉強しています。専門教科はもちろんですが、1年生は弘果弘前中央青果さんの指導のもと、メロンの栽培指導を受けて市場でセリを見学しました。2・3年生は課題研究の授業でさらに専門的な内容を研究しています。地域文化や社会問題に着目し、改善や更なる発展を目指し、生徒が主体的に解決に向けた活動を行っています。

また、今年度は最新大型機械の講習会を通して、最先端技術の著しい向上を肌で感じることができました。

私たちは農業技術や農業の大切さ、農業の魅力を何らかの形で広めるため日々授業や実習に励んでいます。将来農家の道へ進む生徒も多くいます。農家の苦勞を体験し、農作物への感謝を忘れず、これからも高校生だからこそできる更なる農業の発展に努めていきたいです。



生命を育てる生物生産科



野菜栽培



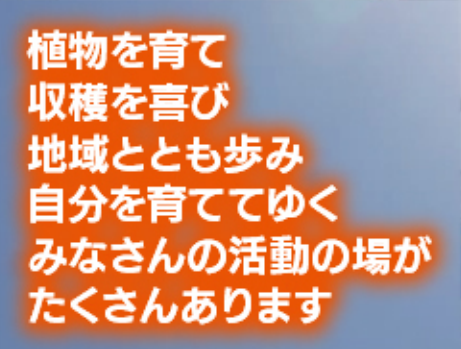
入寮生活



りんご栽培



水稲栽培



植物を育て
収穫を喜び
地域とともに歩み
自分を育ててゆく
みなさんの活動の場が
たくさんあります



異年齢交流



技術センター見学



研究活動・発表会



市場見学



Agri new star

～新しい時代の幕開け～

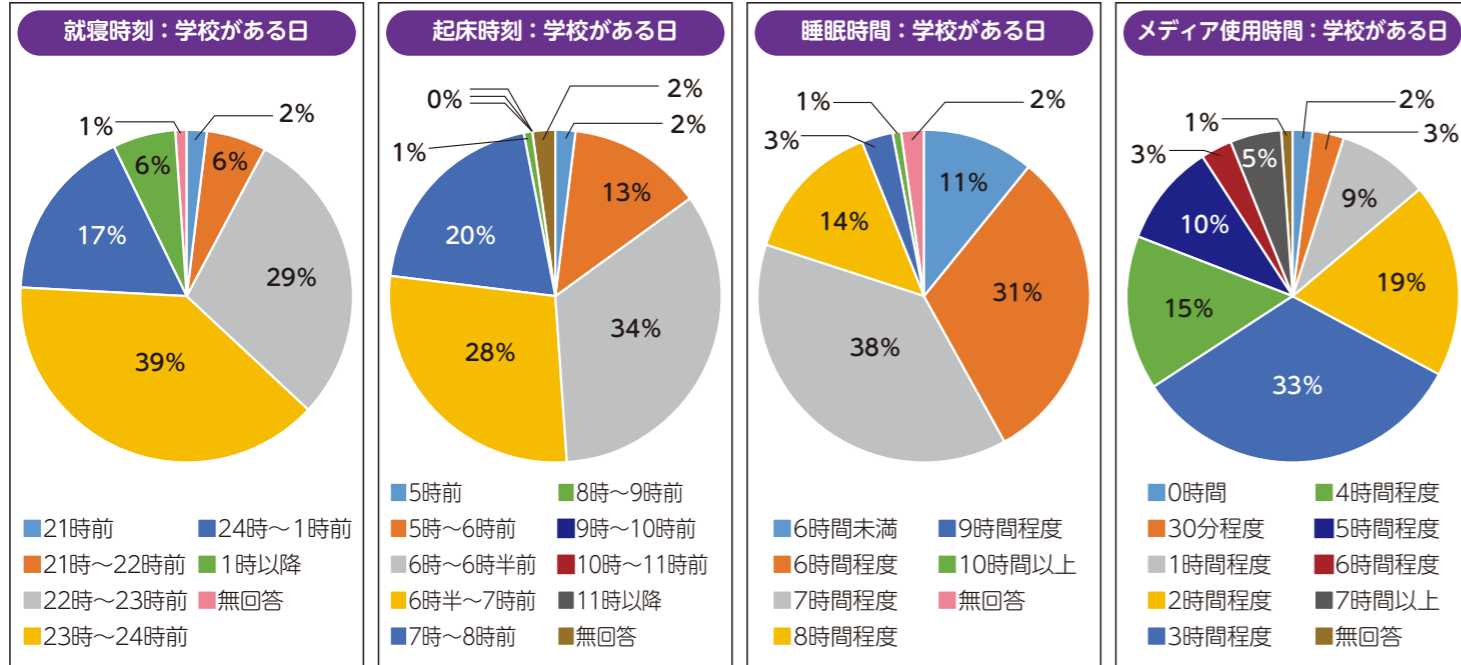


睡眠について

五農生の睡眠に関する調査をしました



睡眠は、心身のメンテナンスをし、疲れをとり、明日への活力を養う大切な時間です。登校してからもぼーっとしている生徒、あくびをしている生徒がみられます。また、体調不良で保健室を利用する生徒の睡眠時間が短いこと、就寝時刻が遅いことも気になります。そこで睡眠に関するアンケート調査を実施しました。



日本人の平均睡眠時間は約7時間とされています。人によって必要な睡眠時間は異なりますが、**睡眠時間が6時間以下の方は42%、就寝時刻が24時以降の方は23%でした。**お子様は、必要な睡眠がとれているでしょうか？また、**スマートフォンやゲーム等のメディアの使用時間が平日5時間以上の方が19%もいます。**メディアの長時間使用が睡眠時間を奪ってはいないでしょうか？

心身のすこやかな成長や学校生活の充実のためにも、必要な睡眠時間を確保できるよう、ご家庭でのお子様の生活状況の把握や声かけをお願いします。

寄宿舎について知ろう

名前の由来

寮名は「菊水寮」といいます。明治40年頃から存在します。校歌の一節に「山水清き不魚住」とあるところ「山水清き菊ヶ丘」と改められました。これは旧校舎の地名が「八重菊」であったことから語呂の良い「菊ヶ丘」という語句が用いられたようで、この校歌の一節にちなんで「菊水寮」と名付けられました。

寄宿舎入寮

1年生生物生産科が6ヶ月間義務入寮し、2年次には各学科が1週間の宿泊入寮、1年次は入学式の1週間後にオリエンテーション入寮をします。また、通年での特別入寮生もいます。



運動部直撃インタビュー

今回は五農注目の2つの部活動の皆さんにインタビューしました！

卓球部



常に部員募集！！
新しい練習場を得てやる気満々。
五農ファイト一球入魂。

* 普段はどんな練習をしているのですか？

基本練習から応用練習まで個人のレベルに合わせて練習をしています。最近は大会での体力不足を感じて走り込みも始めました。

* 練習で楽しいことつらいことは？

みんなと笑いながら、でも真剣に練習できていることは楽しいです。ただ練習場が予想以上に夏は暑くて冬は寒いです。後は日差しが強いと練習にならないので暗幕が欲しいです。

* 今後の目標は？

勝っても負けてもみんなと卓球やって良かったと思えるような部にしたいです。

* 最後に大事なことを伝え下さい。

卓球部では部員を募集していますので、初心者から経験者までいつでも見学にきて下さい。



バスケット部



1本！そうれ1本
攻めろ！攻撃！攻撃オフェンス！
全カプレーを応援します。

* 普段はどんな練習をしているのですか？

ロードワーク（身体能力）基礎トレーニング（コーディネーション）・プレーの合わせ（状況判断・空間認知・反応）大会での課題を練習メニュー化させた課題ドリルを行っています。

* 練習で楽しいことつらいことは？

楽しいことは、きつい練習でも皆で声を掛け合いながらプレーすることでチームワークを実感できることです。辛いことは、チームの雰囲気が悪くなり上手くコミュニケーションがとれなくなった時です。そのため、私達にとって一日の練習が勝負であり、心を込めて行っています。

* 今後の目標は？

地区1位、県ベスト8に入ることです！！



知っておくと絶対得！

進路指導部へ直撃インタビュー

今の五農生の現状について感じていることを教えてください。

全体として、自分の進路について動き出す時期が遅いと感じています。もう少し早く、もう半年早く進路について動き出せば、いろいろな準備ができるのではないかと思います場面が多々ありました。

3年生の進路状況はどうですか。

色々と紆余曲折はありましたが、おおむね順調に進路は決定しています。

各学年の課題ってどんなことでしょうか。

具体的に、自分の進路について考え始める時期が遅いと感じています。自分が将来何をしたいのかというイメージをきちんとつくってほしいと思います。卒業後・10年後・20年後、何をしていますか。進路を決めるとは、自分の未来を決めることです。考えることが大切です。



五農 P T A 活動

子ども達とともに PTA会長 山田 真一

五農PTA会員の皆様には、平素よりPTA活動にご理解、ご協力をいただき感謝申し上げます。時が進むのは早いものであつという間に一年が過ぎ去ろうとしています。さて、春からPTA活動に参加して感じたことですが、田植え、稲刈りでは生徒が学年関係なくチームワーク良く結束して奮闘し、先般の五農祭では挨拶もしっかりできていて生き活きと勢力的に活動していました。我々保護者も力を合わせ、人生の先輩として子ども達の手本になれるように頑張っていかなければと思っております。これからも情報交換や意見交換を交えながら活発に活動し、発展していきたいものだと思っております。どうぞ今後も深い理解とさらなるご協力をお願いいたします。

主なPTA活動

4月

PTA総会



5月

第1回役員会
全校田植え大会
あいさつ運動

今年も春の5日間、あいさつ運動を実施しました。保護者と先生方が一緒になって挨拶し、子ども達の登校の様子を見ることができて良かったと思います。



6月

環境整備活動

みんなの力で学校をきれいにしようということで今年は陸上グランド横の遊歩道整備を中心に行いました。天候に恵まれて枝払いに汗をかきながらもあちらこちらから笑い声の聞こえる楽しい時間となりました。作業が終わってからの懇親を兼ねた焼き肉会も、美味しい肉をほおぼりながら情報交換に花がさきました。



8月

五農立佞武多運行協力



9月

全校稲刈り大会



10月

PTA研修旅行

今年は、一度は乗りたい大人のリゾート列車JR東日本「リゾート白神」号で、日本海の風光明媚な景色を楽しみながら親睦を深める旅をしました。当日は小雨が降っており存分に景色を楽しむというわけにはいきませんでした。その分お話に花がさき、あつという間にウエスバ椿山に到着。不老不死温泉にて「マグロステーキ丼」を味わい波打ち際の露天風呂を満喫して、帰路のバスの中は笑いが絶えること無く楽しい旅でした。



11月

五農祭(餅つき大会)

五農祭でのPTA恒例行事である餅つき大会が今年も行われました。多くの保護者、OBの皆様の協力の元で大盛況に終わることができました。力強く餅つきを手伝ってくれた、まわし姿の相撲部の皆さんにも、会場一杯のお客様から大きなかけ声と拍手が沸いていました。振る舞われたつきたてのきな粉餅は、大変美味しいと皆さん大喜びでした。

